

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 9日

公表: 令和 6年 2月 14日

事業所名 放課後等デイサービスリズム

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			広い建物の空間を出来る限り有効に活用しています。昨年10月に児童発達支援事業が別の場所に移動し、さらに利用できる部屋が増えました。今後も活動内容によって部屋を有効に活用していきます。
	2 職員の配置数は適切である	10			人員配置基準以上の人員を配置して支援しています。活動内容によってはスタッフが足りないと感じることはありますが、子どもたちの気持ちに寄り添い支援をしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	4	借家で建物が古く全てがバリアフリー化とはなっていませんが、配慮が必要な部分に対しては工夫して対応しています。階段等の段差もありますが身体作り等に生かせる環境として捉えています。今後も必要箇所については随時改善を行っていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10			PDCAサイクルを心がけ毎日活動前後の打ち合わせと振り返りを行っています。週1回のミーティングではケース検討等を行い、より良い支援ができるよう日々心がけています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			保護者の要望などあれば早期に改善できるようにします。スタッフミーティング時に保護者向け評価表を読み合わせ、保護者の方の意向の把握に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			平成30年度よりホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	8	現在は保護者と所内での評価のみとなっていますが、今後の検討課題としたいと思います。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			所内で毎月、心理士のスタッフを講師とし関係機関との連携学習会を開催しています。また外部の研修にも出掛けたり、zoomでも参加してきました。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			定期的にあセスメントを行い計画につなげています 保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し個別支援計画を立てています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			利用開始の際に、リズムのアセスメント票に記入して頂き状況を把握しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			課題内容や活動内容について毎週のミーティングで話し合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			個々の発達に合わせた言葉がけや、支援ができるようにしています。 平日、休日、長期休暇や季節に応じてイベントや製作、調理実習等の活動プログラムを工夫し、個別の課題や集団の中での育ちを踏まえて個別支援計画を作成しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			活動開始前に打ち合わせを行い子ども達の様子やその日の活動の流れ、支援方法を確認しています。活動後も子ども達の様子や支援の振り返りを行い記録し、検証・改善につなげています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			概ね6ヶ月に1度、保護者との話し合いの場を設け、見直しを行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	1		ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせながら目的に応じた支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			児童発達支援管理責任者と担当者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10			送迎時など、担任の先生にお話を聞くようにしています。また電話等で情報の共有を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	6	現在該当するお子さんはいませんが、必要に応じて関係機関と連携を図ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			必要に応じて情報の共有を図っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10			保護者の要望に応じて、情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			発達障害者支援センターは遠いため助言等は難しいです。管内の事業所との情報交換は定期的に行っており、今後も進めて行きたいと思います。今年度、圏域に児童発達支援センターが設置されましたので、連携を図っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			10	以前は交流の機会を設けていましたが、今年度も感染症対策のため機会を設けませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10			自立支援協議会の児童発達支援管理責任者部会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			日々の送迎の際にお子さんの状況や課題についてお伝えしたり、必要に応じて個別に相談の時間を設け共通理解を図っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2	1	ペアトレ等の保護者向け研修は行っておりませんが、面談や送迎時にお子さんへの対応について伝えるように心がけています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			定期的なモニタリングの他に、必要に応じて電話や面談の時間を設けてお話を伺い、アドバイスを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5	1	今年度感染症に配慮しながら規模を縮小した親子行事を開催し、保護者の方向士が少しでも交流できる場を設けてきました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			苦情があった場合の対応の体制を整えています。また保護者の方には契約時に周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			「リズム通信」を毎月発行し、活動の報告や子育てのヒントのコラムを掲載しています。また、法人のFacebookにも活動の様子を投稿しています。
	35	個人情報に十分注意している	10			保護者には契約時に同意書を頂いています。個人情報が記載された書類は事務所で管理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			個々に応じた配慮を言葉と共に見てわかりやすい等、伝達方法を工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	7	今年度は地域の団体の方に来ていただき、風船ランプ作りを行いました。今後も地域に開かれた事業運営を行える様、行事等計画したいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			各種マニュアルを作成しスタッフにはミーティング等で対応方法の確認をしています。保護者にはマニュアル等の情報の周知を図れるよう、玄関に常設しました。また必要に応じて見直しを行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			事業所内で定期的に、避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			法人内の虐待防止研修へ参加し、事業所内で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	5	現在対象のお子さんはいませんが、お預かりする場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1		保護者と確認しながら、おやつの対応をさせて頂いています。必要に応じて医療機関とも連携を図ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1		報告書に記載し、事故を未然に防げるようミーティングで共有しています。